

「君のことは絶対
俺が守るから」

ロン毛は
そう言ったけど

俺を助けるのは
いつだって――

信じて待ってるから

早く来てくれよ

俺の為に来てくれ
なかったことなんて

一回もなかった

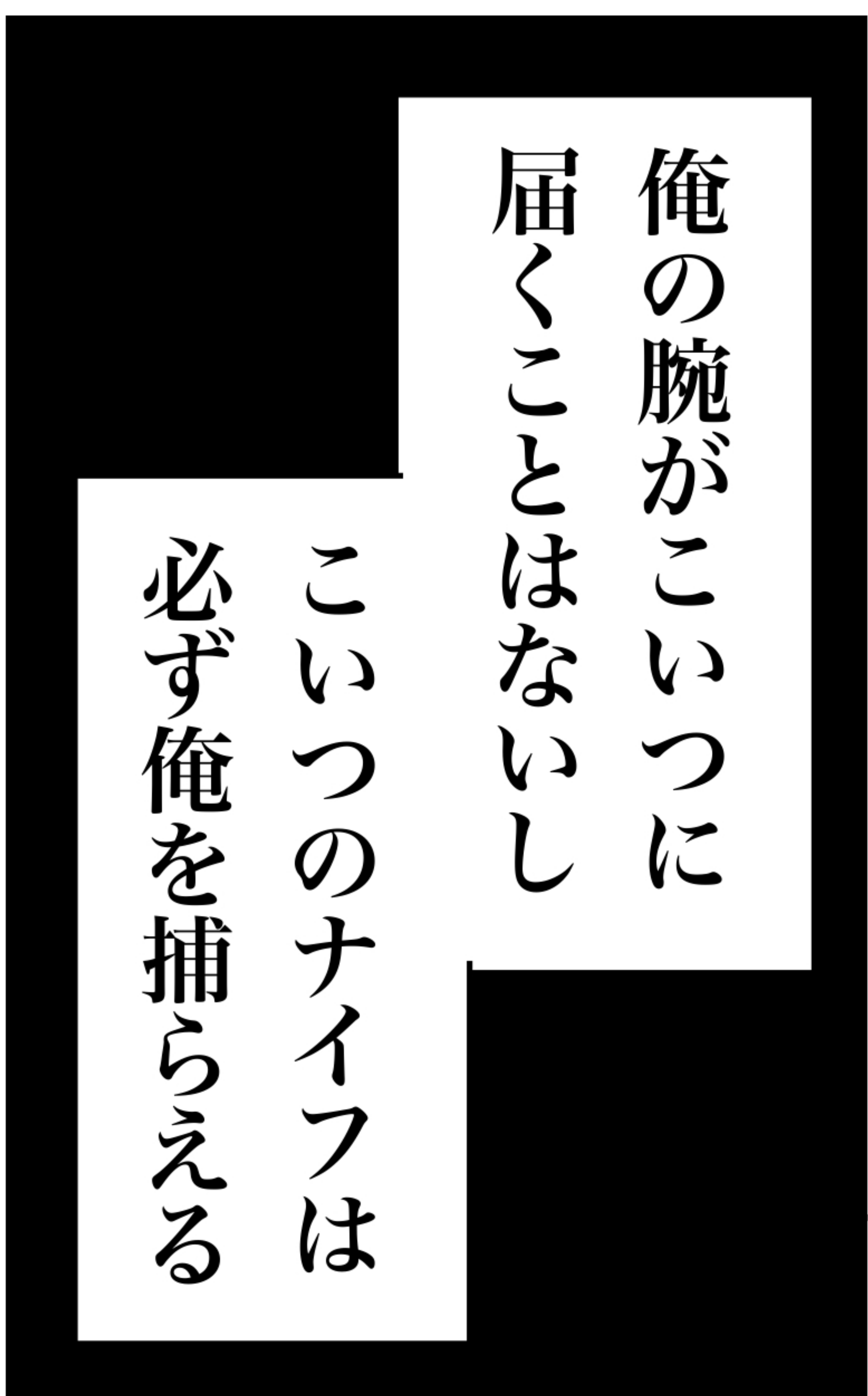
じゃんか





第19話

焰々




こいつのナイフは必ず俺を捕らえる



こいつと斬り合っているとわかる





狙われたら一発で
持終ってかわれるとこ
以外ノーガード

そうせざるを
得ない

腕や脚の傷は
千切れそうな程深い



学ラン野郎

お前

俺のこと…
殺そうと思えば
今すぐにでも
殺せるんじゃないの？

そんなに
俺と話してえの？

それとも

俺で遊んでるのか？



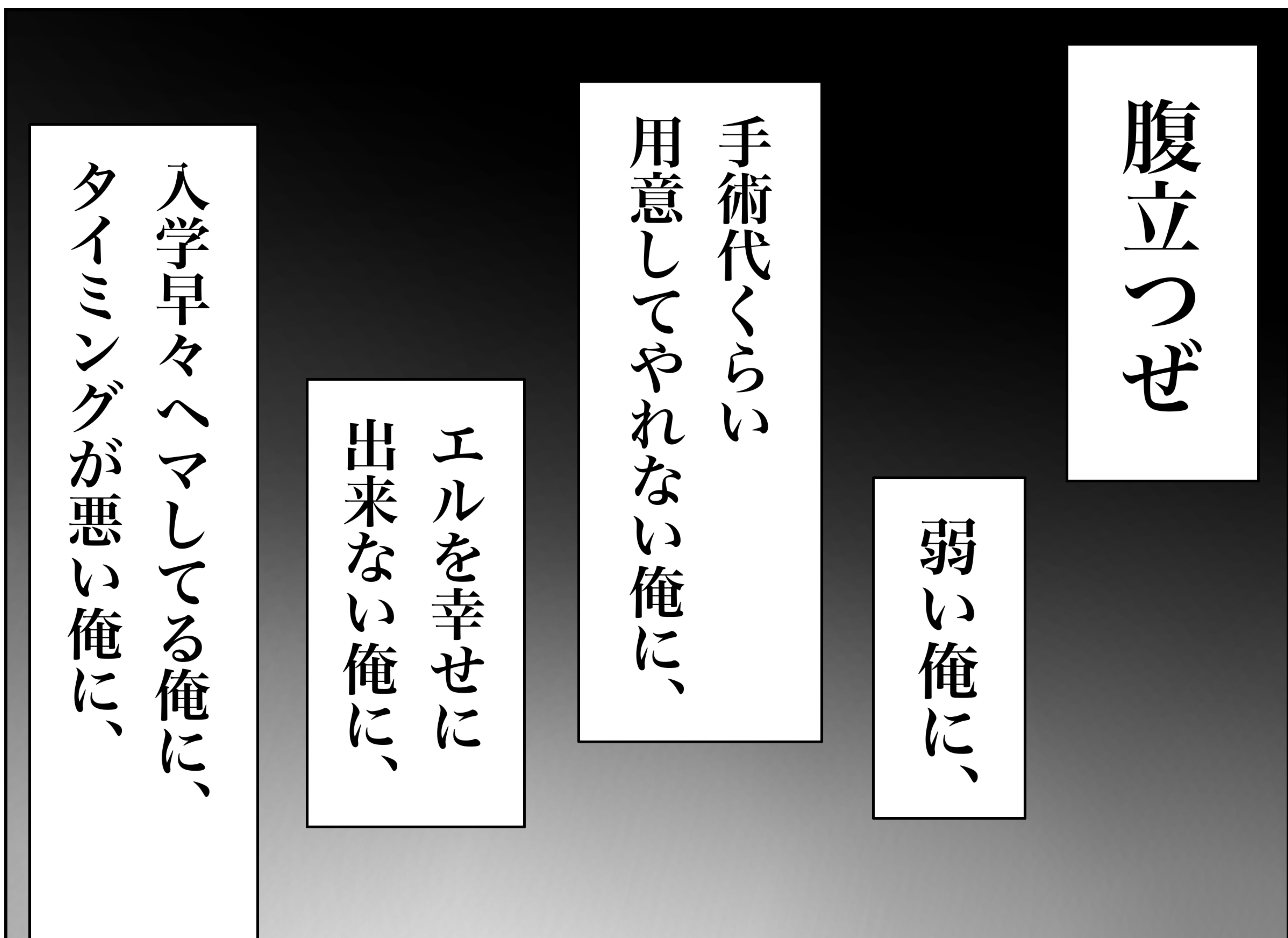
腹立つぜ

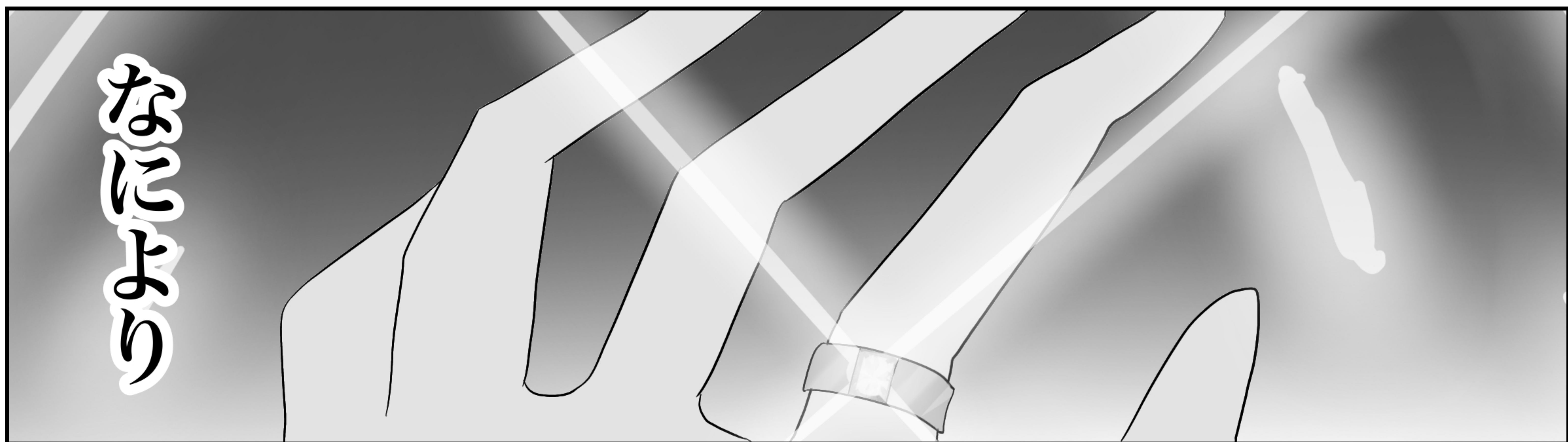
弱い俺に、

手術代くらい
用意してやれない俺に、

エルを幸せに
出来ない俺に、

入学早々ハマしてる俺に、
タイミングが悪い俺に、





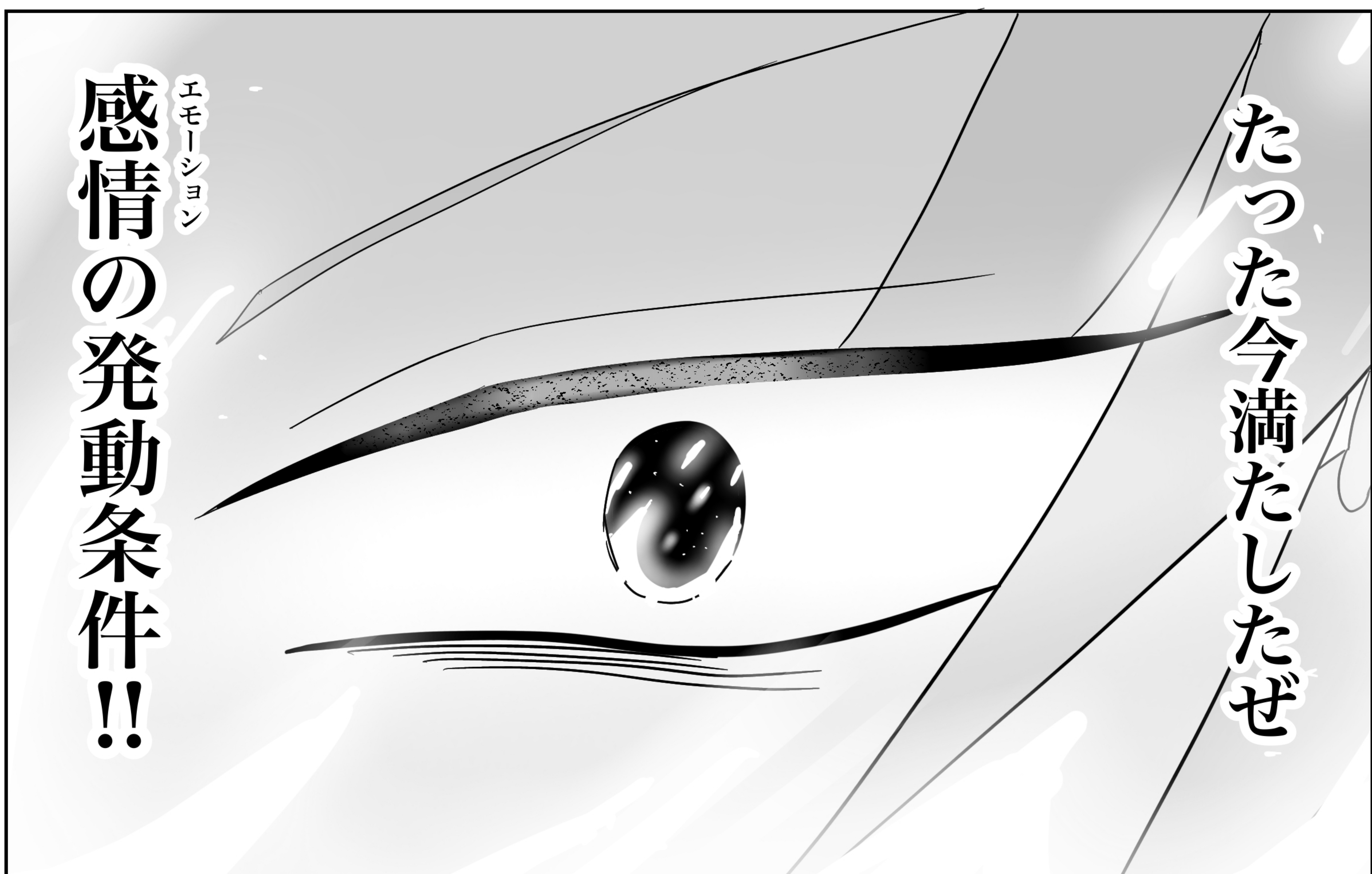
なにより



俺の前に

立ちはだかる

お前に!!



たった今満たしたぜ

エモーション

感情の発動条件!!

炎属性

焰々!!!

えんえん







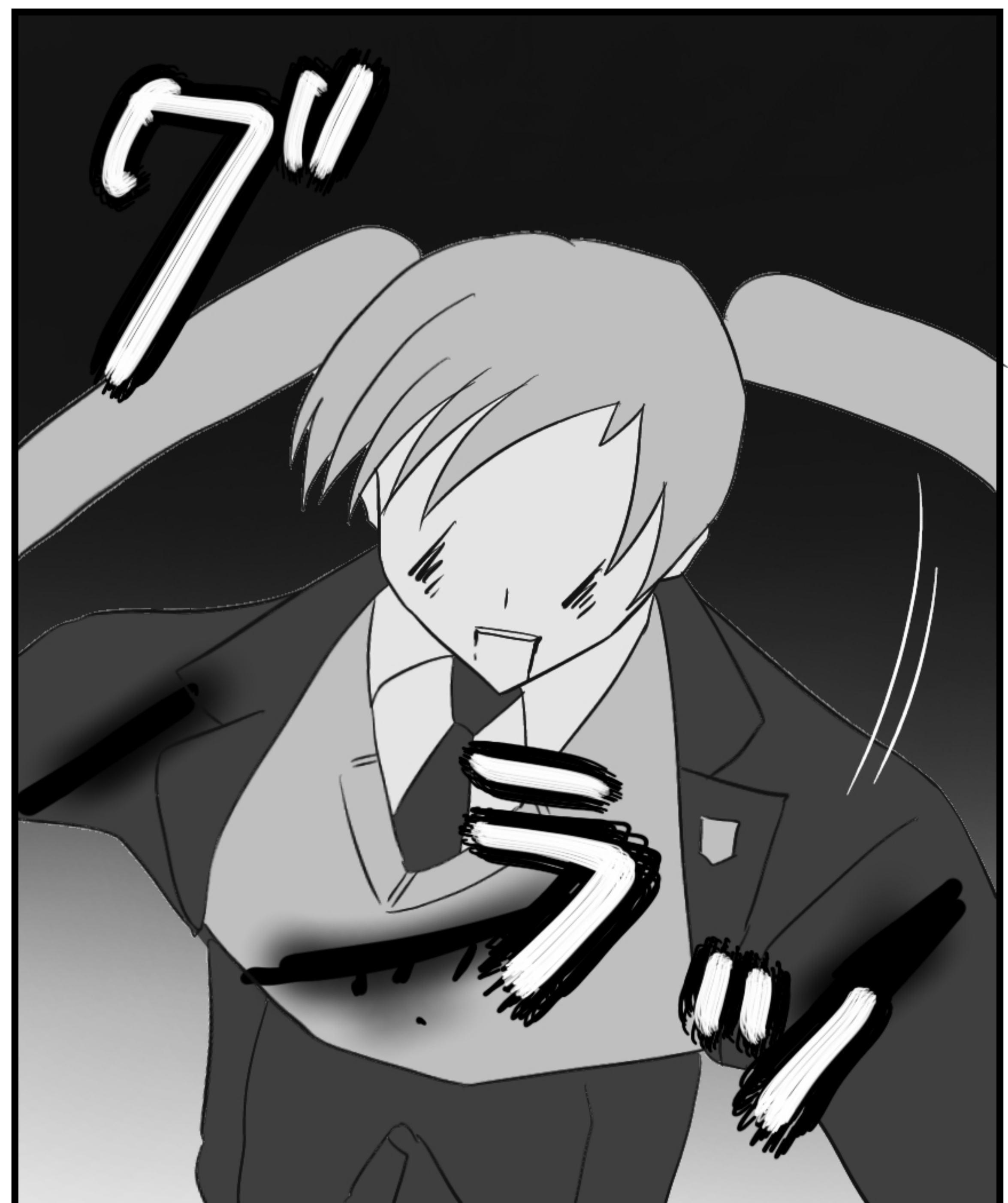
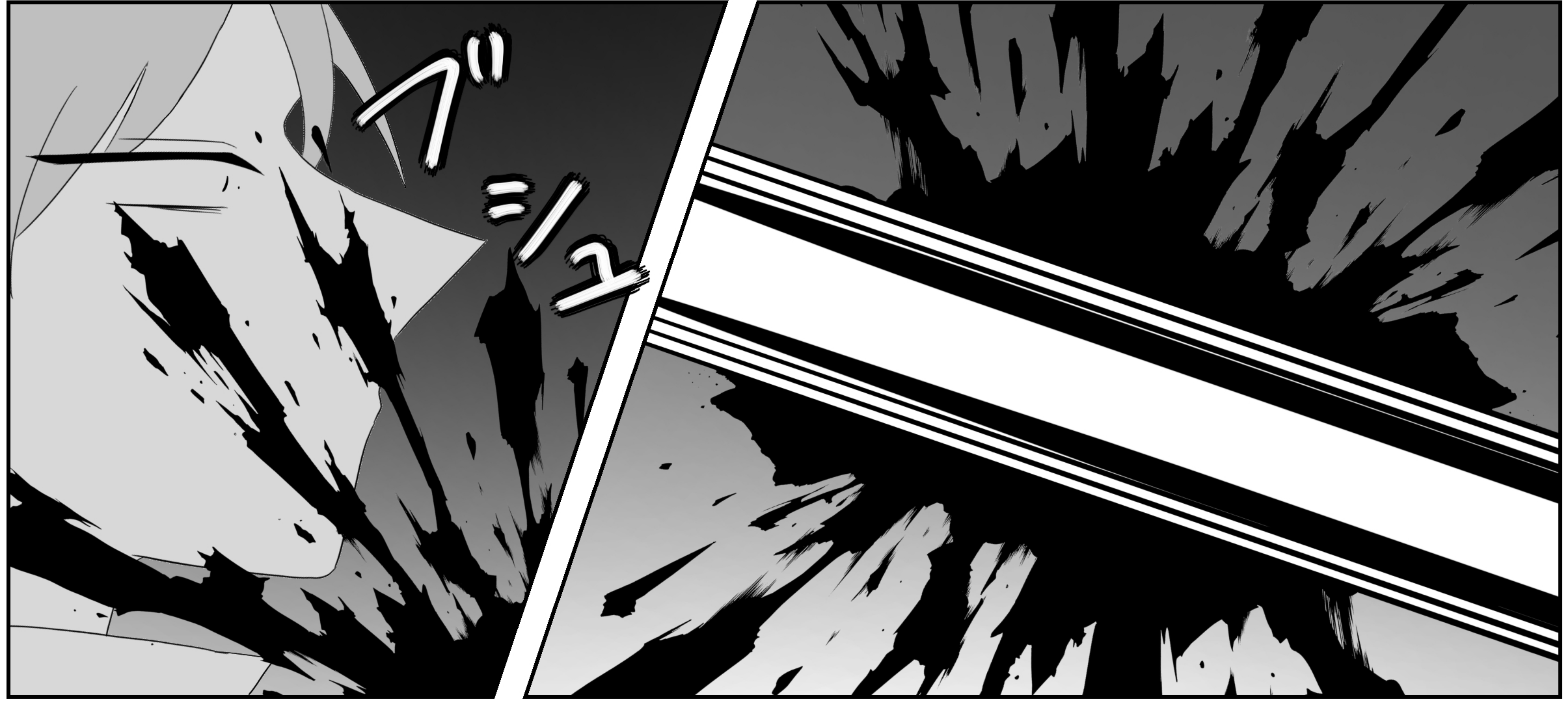
僕を
焼き殺すには

火力が全然
足りないよ



けど...まあ
半分だね

それに...



ほら

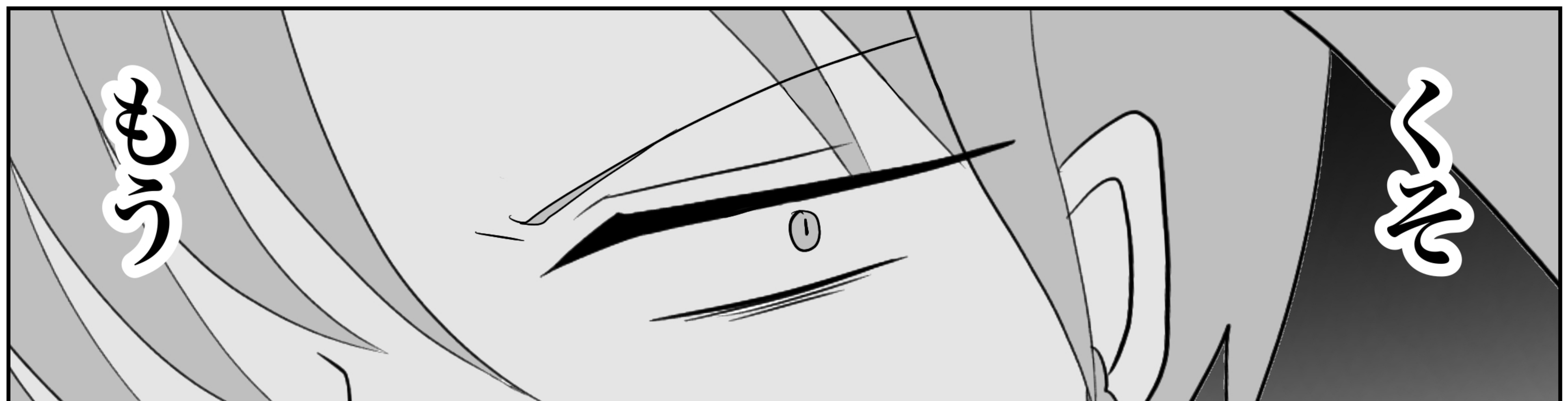
そろそろどっか
諦めないと
死んじゃうよ？

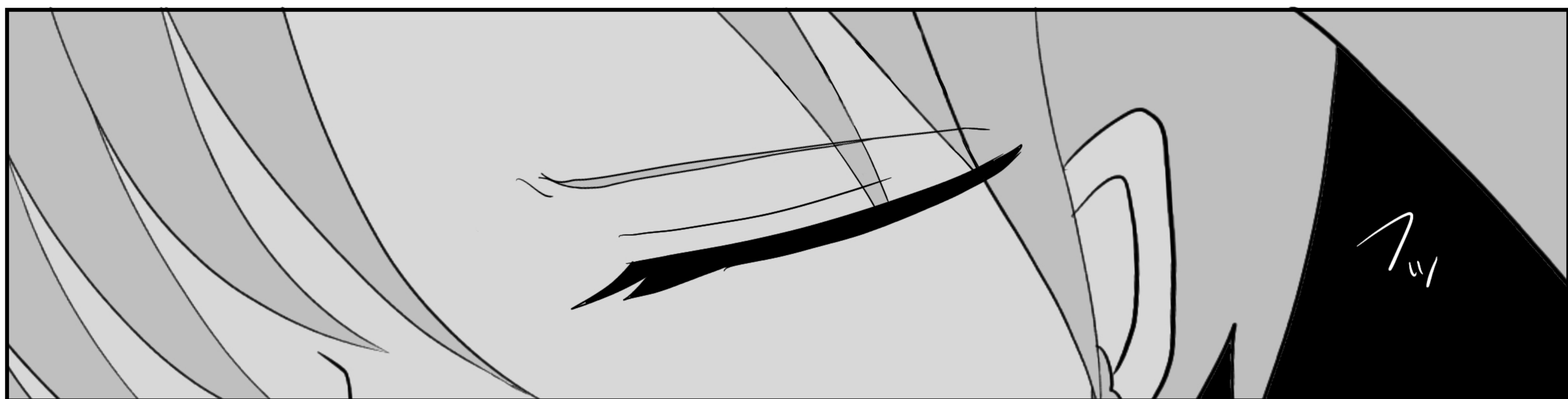
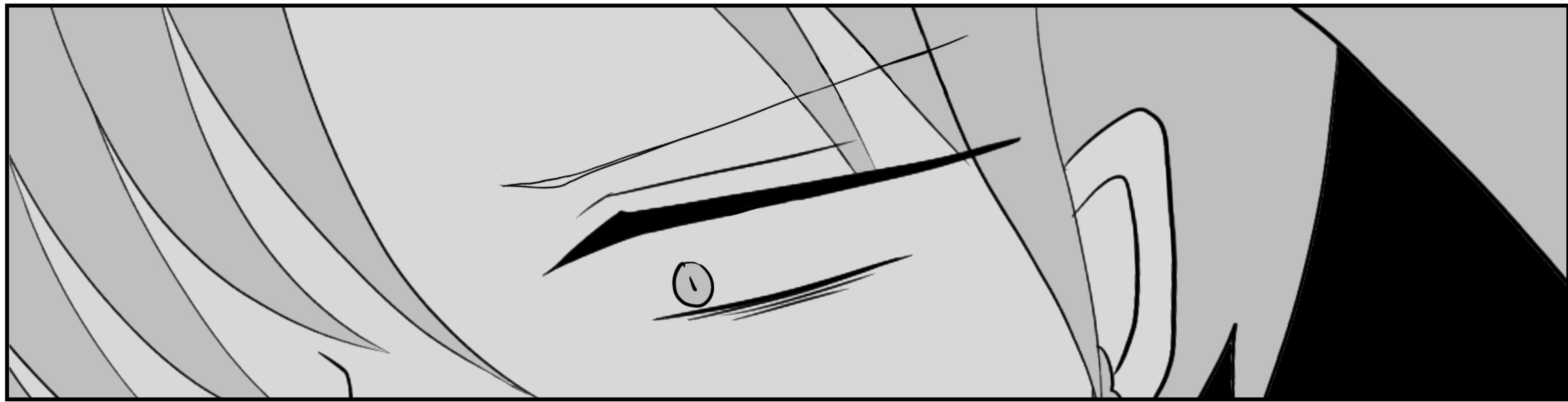
確かに集中力
切れてきた

けどな

今守ってる
心臓…頭、首…

一つでも捨てたら
死んじまうだろ！





走馬灯なんかは
流れてこねえのか

死ぬ前って
こんななんだな

……へえ

最期はエルの顔を
見たかったけどな

A character with short, light-colored hair and a white collar, smiling broadly with closed eyes. The background is a soft, hazy light with circular bokeh effects.



ナイフがゆっくりと
近づいてくる



こんな遅いのに
俺はこれを
避けられない。



エル、ごめんな。
兄ちゃん、お前のこと
助けてやれないみたいだ。

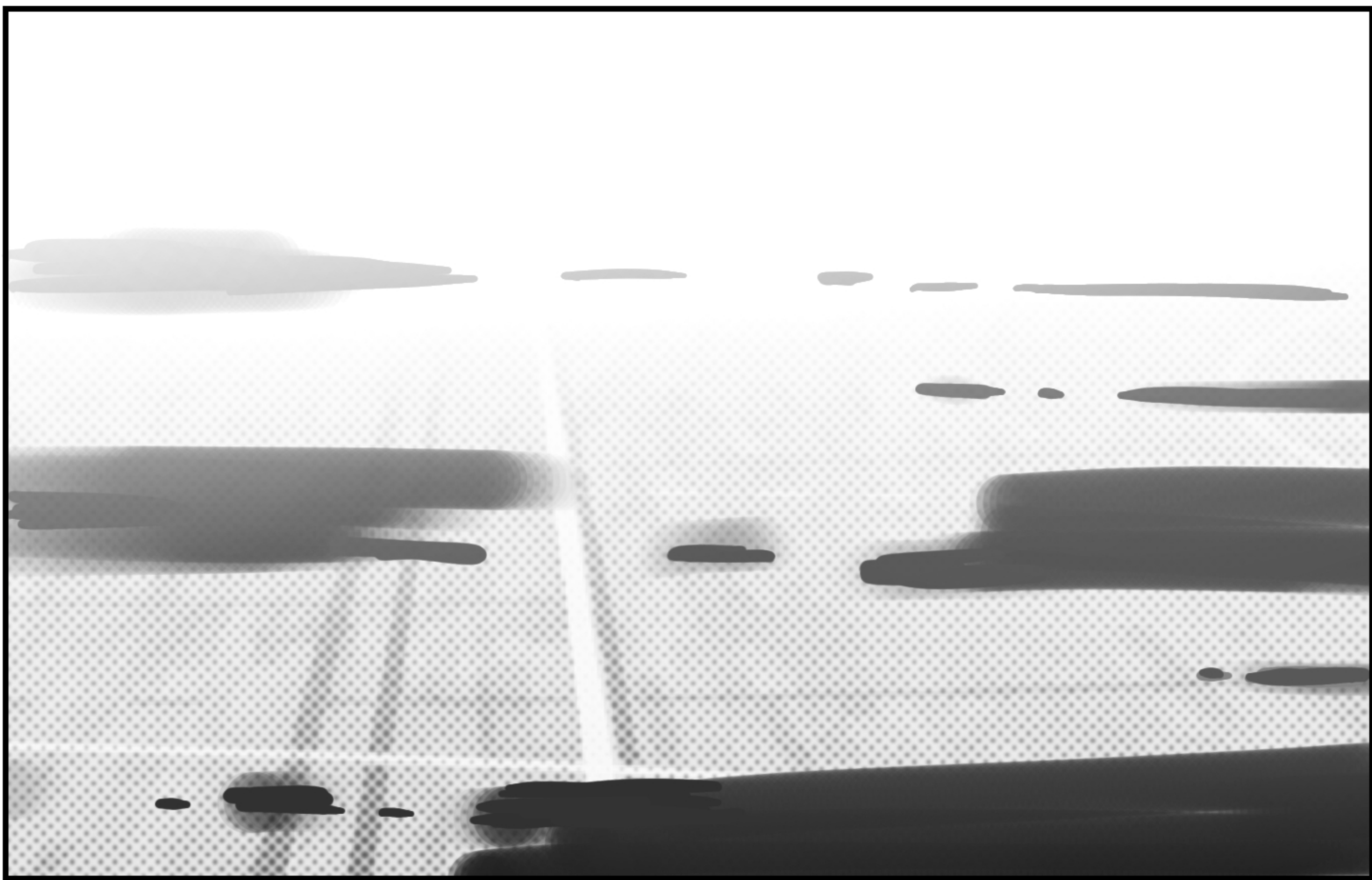
金も用意してやれない、
側にもいてやれない、
最低の見ちゃんだな。

死んだって
いつまでも
お前を
想ってるから

許してくれ



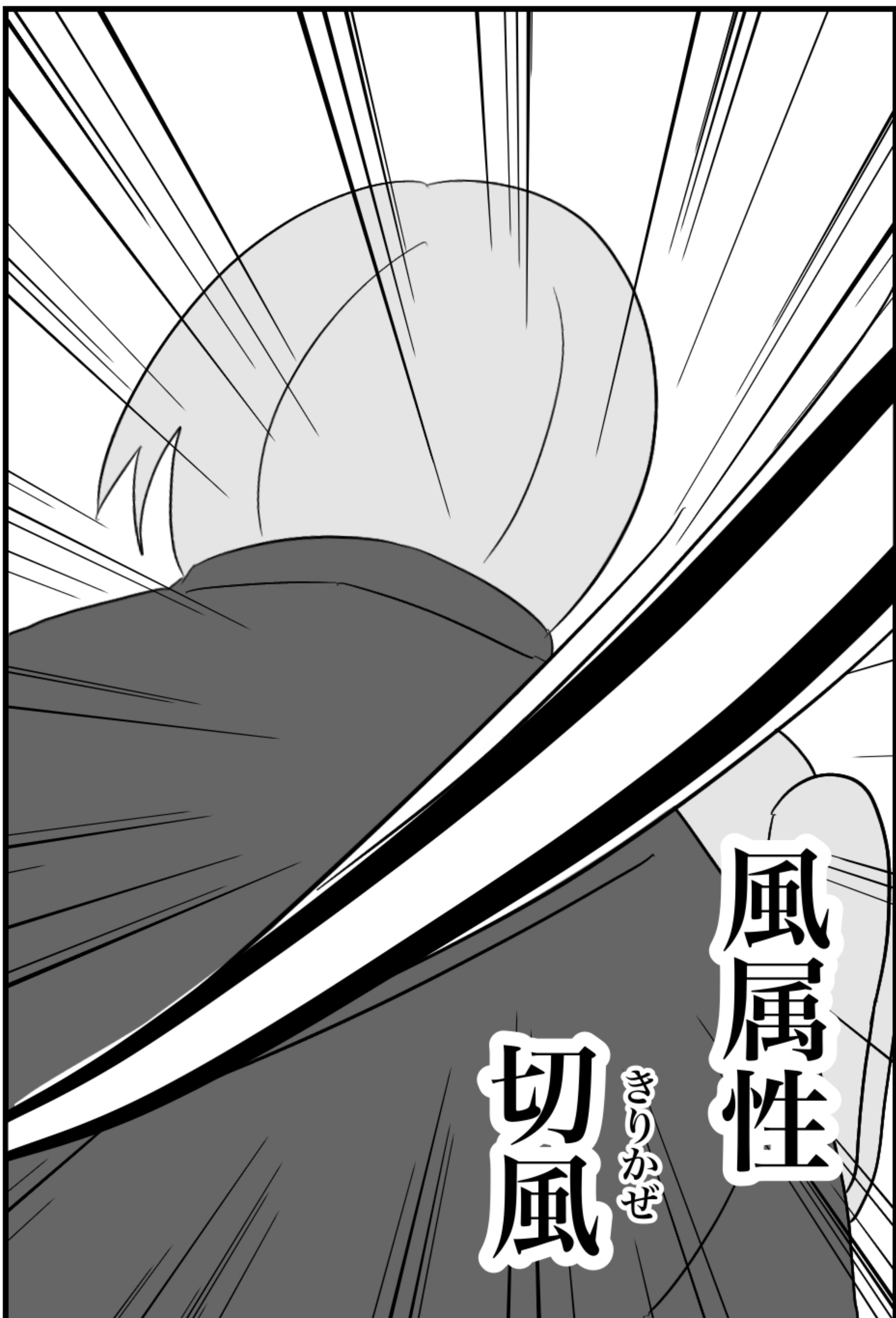




僕が全く腕を動かさせない…



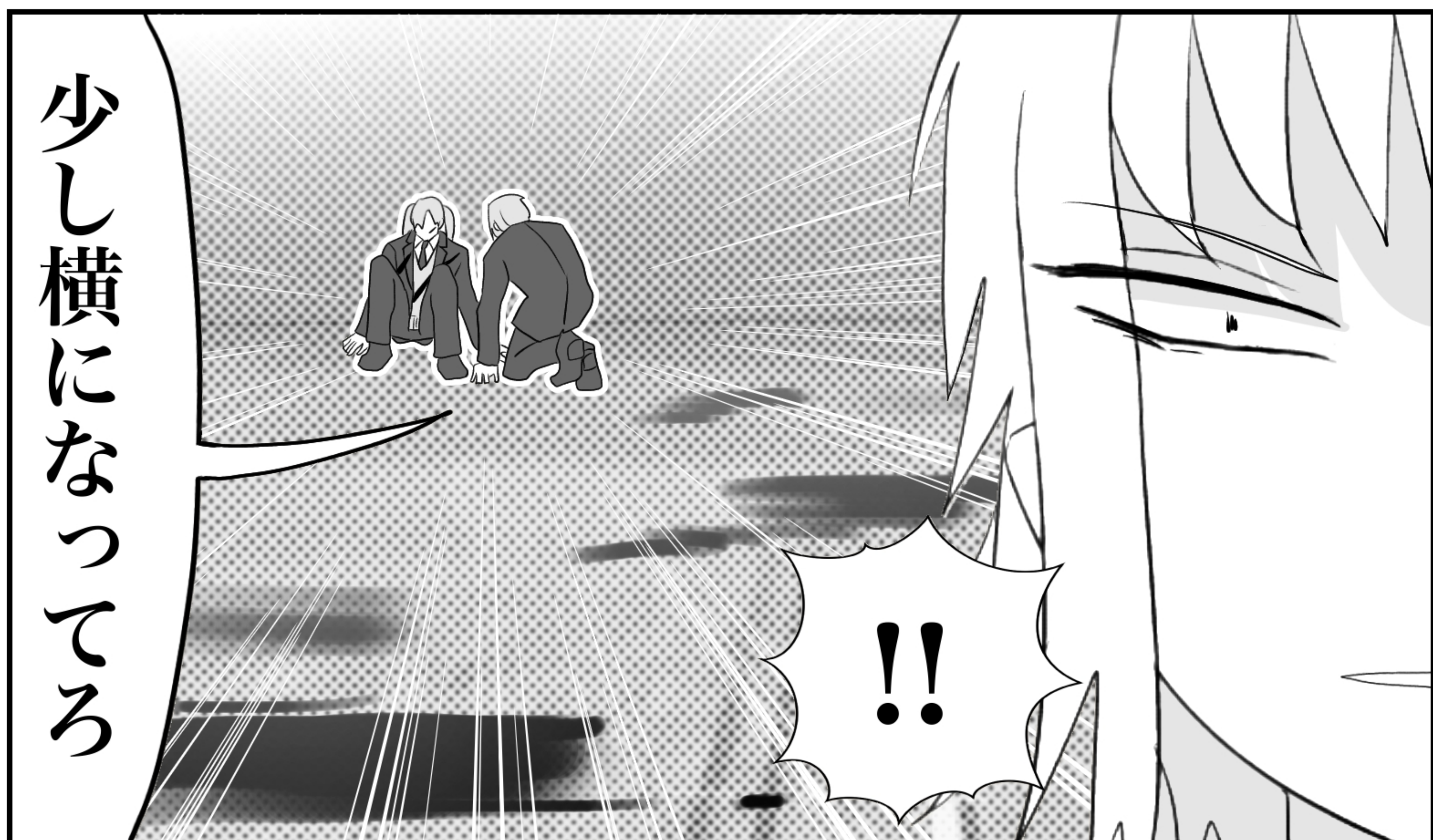
間に合わなかった…



大丈夫か!?

カッ
フッ

大丈夫じゃなさそうだな…



頼みてえ
から…

お前が
学ラン野郎に
勝てるよう
願ってるぜ

仮に俺が駄目でも。

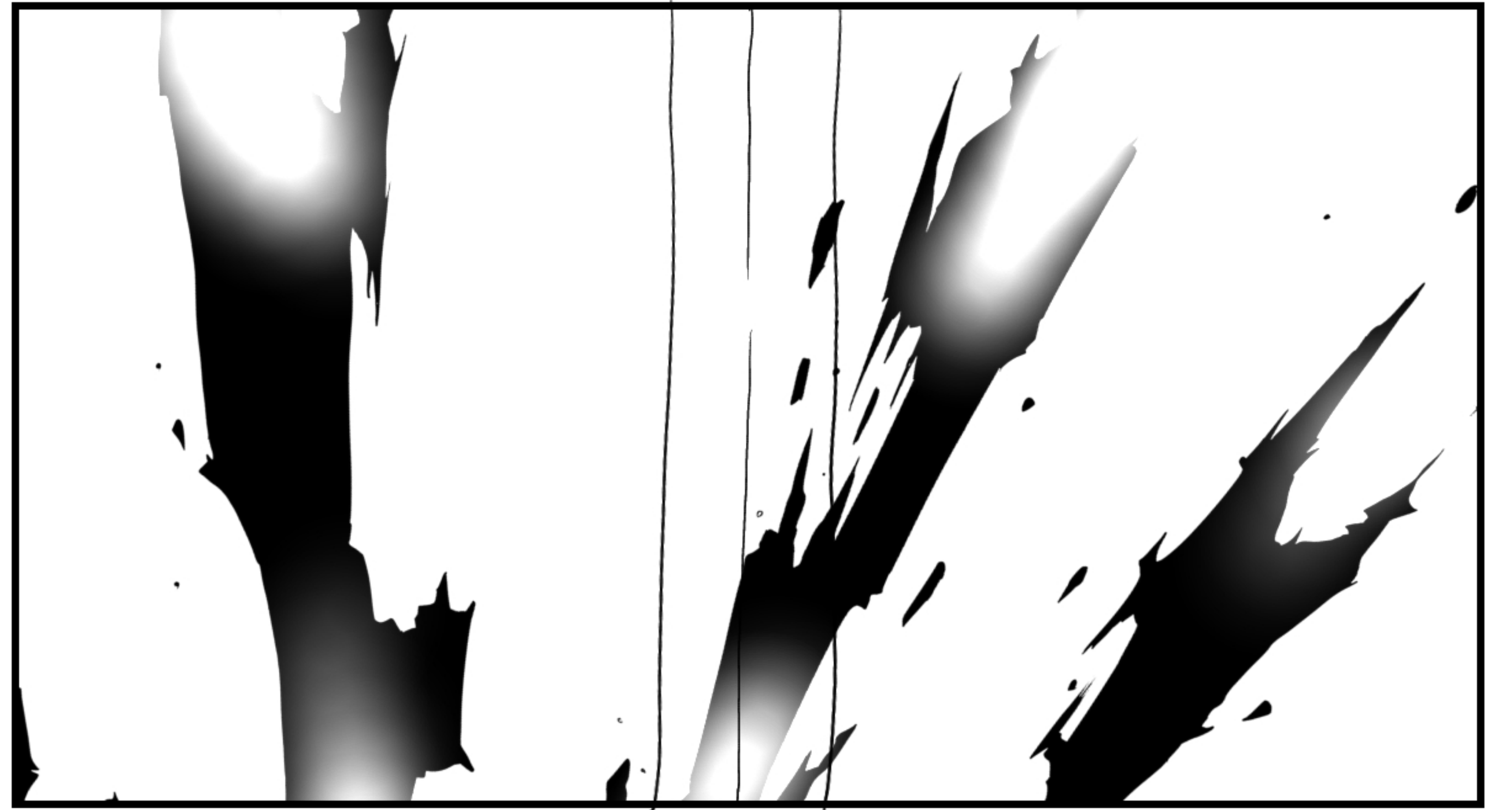
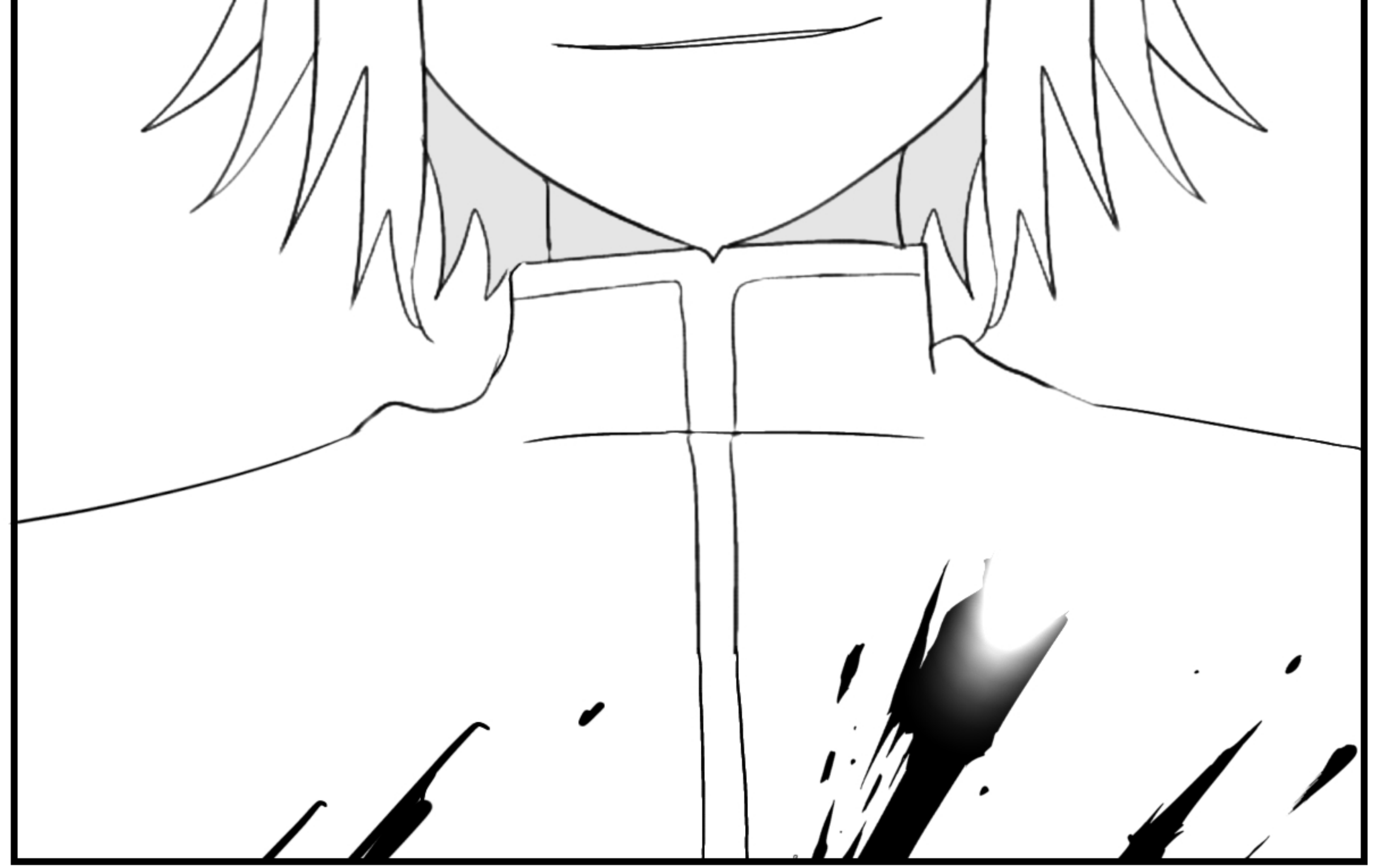


これは
お前の仕業か？

さあ？
どうだと思おう？



…聞くまでも
なかったかもな



俺にお前を
どうこうする
権利はない。

ウォーター先生に
引き渡す。

HS!第20話へ続く



僕が
やったとして

僕を
どうするの？